

人を想い、場を創る。

OKamura

資料 No. 2 - 3

脱炭素化に向けた取り組みについて

2026年6月8日

株式会社エヌエスオカムラ

会社紹介

会社名	株式会社エヌエスオカムラ
所在地	岩手県釜石市鈴子町
設立	1991年(平成3年) 設立後34年
株主	(株)オカムラ、日本製鉄(株)
(社名由来)	日本製鉄(Nippon Steel) + オカムラ
売上高	約30億円
事業内容	スチール製オフィス家具製造
従業員	146名



オカムラの主な事業と当社の生産製品

人を想い、場を創る。

OKAMURA

オカムラの主な事業

オフィス事業



オフィス・共創スペース



自治体庁舎・窓口/ロビー



ヘルスケア・ロビー/待ち合い

商環境事業



スーパーマーケット・システム陳列什器



スーパーマーケット・冷凍冷蔵ショーケース



ドラッグストア・システム陳列什器

物流システム事業



多段式独立水平回転棚・ロータリーラック



自動倉庫・ロボットストレージシステム

パワートレーン事業



流体変速機・除雪車用トランスミッション

当社の生産製品

デスク



作業台



ラック



書架



電動モーターラック SonicSaver+G

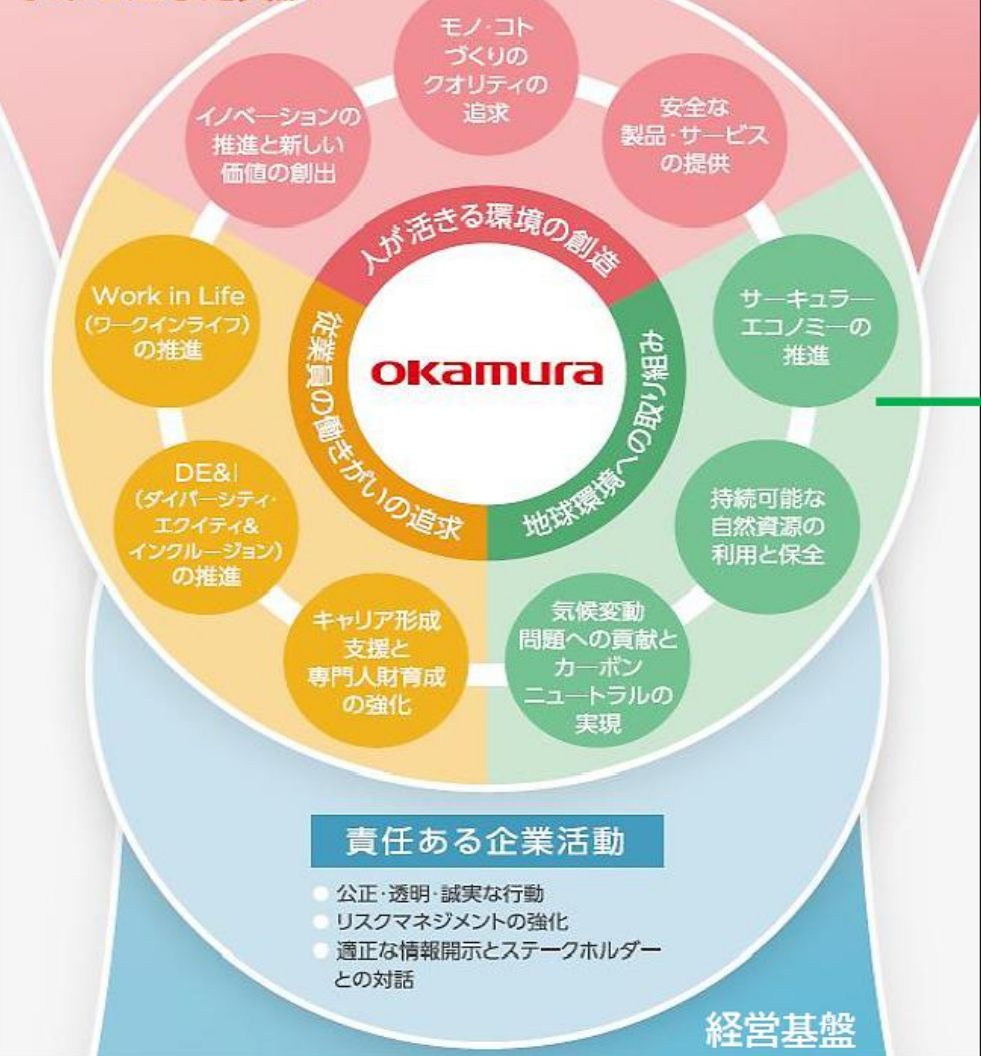
電動移動棚



オカムラグループ環境方針に基づき、環境重点業務目標を設定し取り組みを展開

オカムラグループのマテリアリティ(経営の重要課題)

事業を通じた貢献



責任ある企業活動

- 公正・透明・誠実な行動
- リスクマネジメントの強化
- 適正な情報開示とステークホルダーとの対話

経営基盤

オカムラグループ環境方針

環境基本方針

オカムラグループはGREEN(環境配慮)のWAVE(波)を自ら起こしその波に乗るという「GREEN WAVE」の考えの下に、すべての事業活動で経営資源(人・設備・材料・技術)を活用して環境負荷低減活動を実践します。さらに、その成果をステークホルダーの皆様を提供することで「持続可能な社会の構築」に貢献いたします。

環境行動指針

1. オカムラの実践

オカムラは、ものづくりとコミュニケーションを通じて環境負荷の低減を推進します。

● 重点項目

- ・ものづくりでの環境保全活動
開発・製造・販売・物流のそれぞれの分野を通じて環境保全活動を実践します。
- ・社会に広げる環境活動
事業や従業員の活動を通じて、地域・社会とのコミュニケーションを拡大し、相互理解を深めます。
(主な活動項目:地球温暖化防止、省資源・廃棄物削減、生物多様性保全)

2. オカムラの提案

オカムラは、事業活動を通じて、お客様の環境負荷の低減のお手伝いをします。

● 重点項目

- ・製品の提案
お客様が満足できる、環境に配慮した製品を提供します。
- ・空間の提案
環境負荷を低減できる空間をプランニングします。
(主な活動項目:環境配慮製品・空間プランニング、製品情報開示、製品リスク対策)

【エヌエスオカムラ 環境重点業務目標】

- ・エネルギー原単位(前年度比) 1.1%改善
- ・CO2削減 対前年度 $\nabla 1\%$ '30年度目標: $\nabla 50\%$ ('20年度比)
- ・生産廃棄物削減 排出量原単位 前年度比 $\nabla 1\%$
- ・物流改善・物流2024年問題への対応
- ・環境に配慮した製品・梱包材の提案
- ・環境事故0

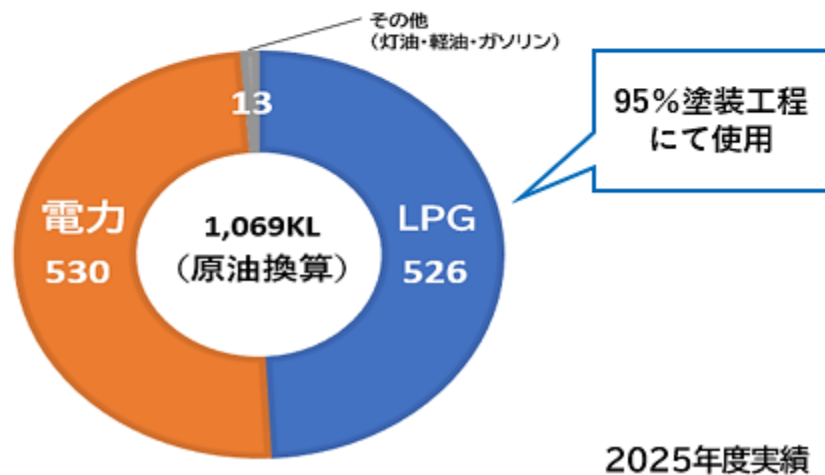
再生エネルギーの導入

オカムラグループ目標； 2030年度 温室効果ガス排出量 50%削減（2020年度比）に向け、2023年度より再生エネルギー電気を導入 工場電力再エネ率 100%を継続している

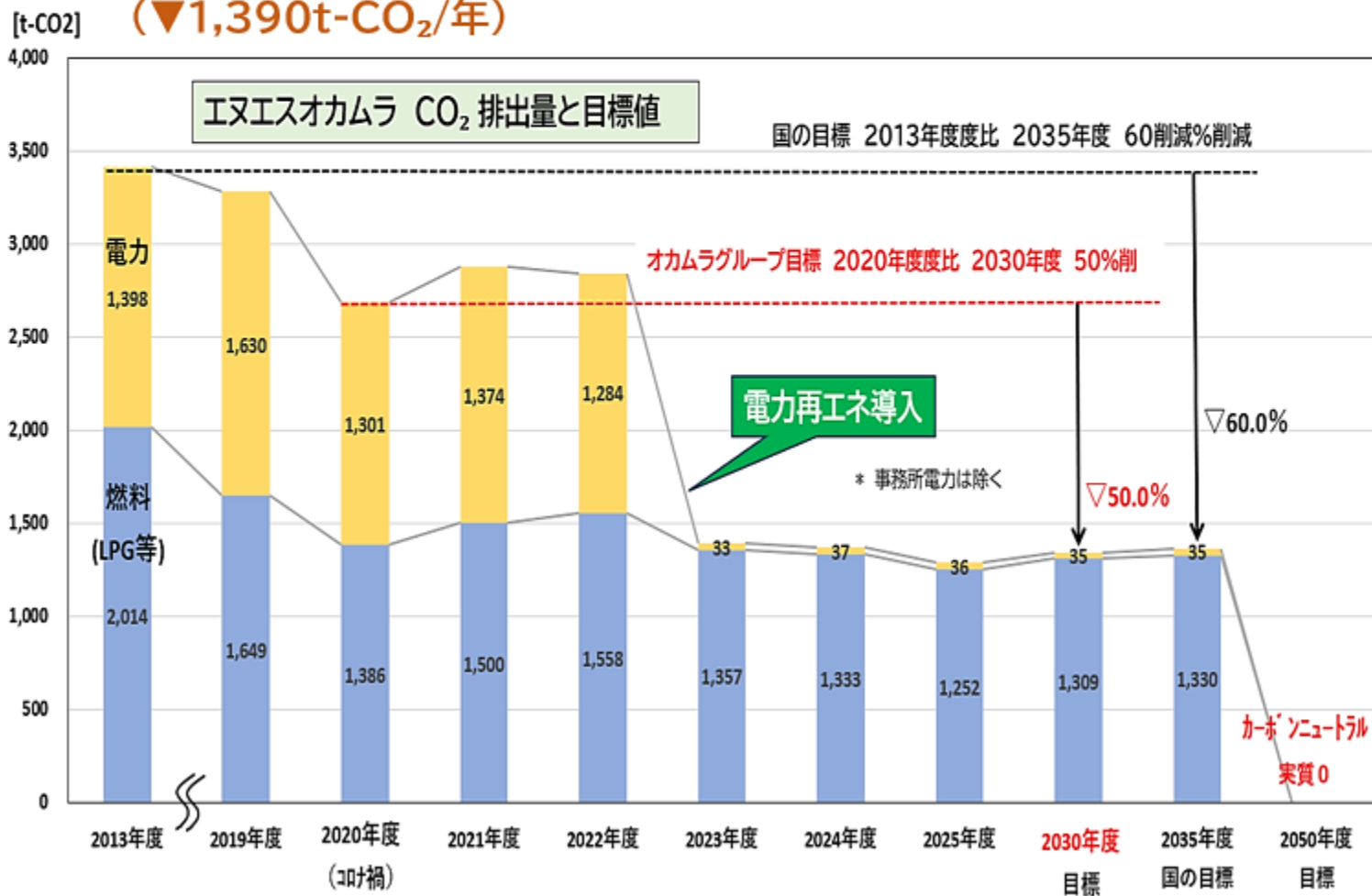
環境長期ビジョン 「GREEN WAVE 2030」

「GREEN WAVE 2030」においては、温室効果ガス排出量削減などの気候変動への対応や、水資源使用量の削減、生産プロセスにおける生産系廃棄物の排出量原単位削減などについて定量目標を設定しています。製品の開発や販売段階における環境負荷低減などの定性目標を設定し、2030年度の達成に向け活動を推進しています。

エネルギー使用量の割合



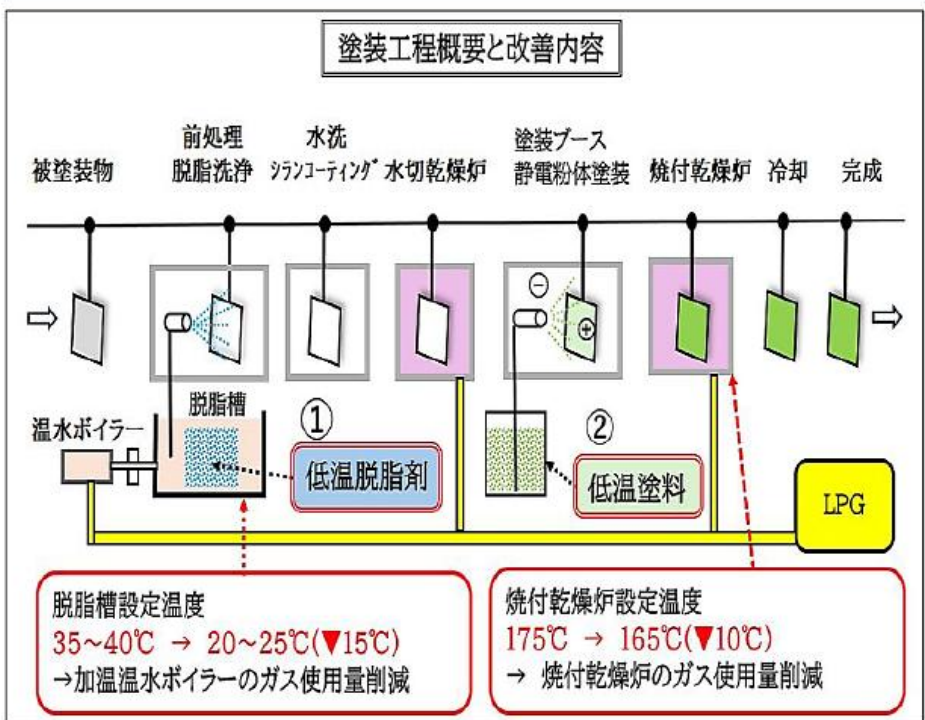
2023年度～再生エネルギー電気を導入開始(東北電力よりそう再エネ) (▼1,390t-CO₂/年)



省エネルギー対策

① 塗装工程におけるプロセス変更

塗装工程の前処理洗浄の脱脂剤と粉体塗料を低温仕様に改良変更。洗浄槽温水ボイラー及び塗料焼付乾燥炉の設定温度を下げることで、ガス使用量を削減した



▼27t-CO₂/年

【改善のポイント】

当初、既存の低温脱脂剤や低温塗料では品質基準がクリアできなかった。
最終的にメーカーと共同で新たな低温剤を開発し試験と改良を重ね、運用することができた。

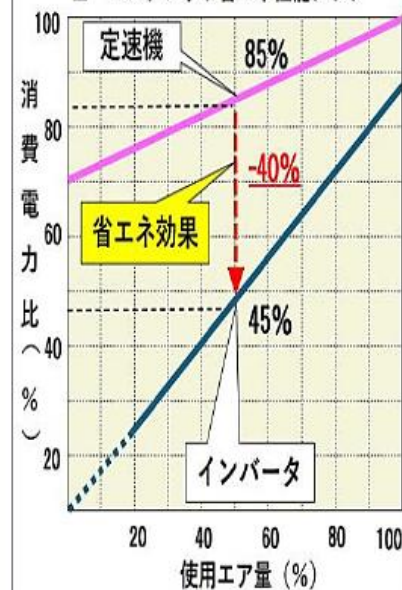
投資額;0(円)
削減ガス量;12,671(ml/年)
効果金額;3,347(千円/年)

② インバータコンプレッサの導入

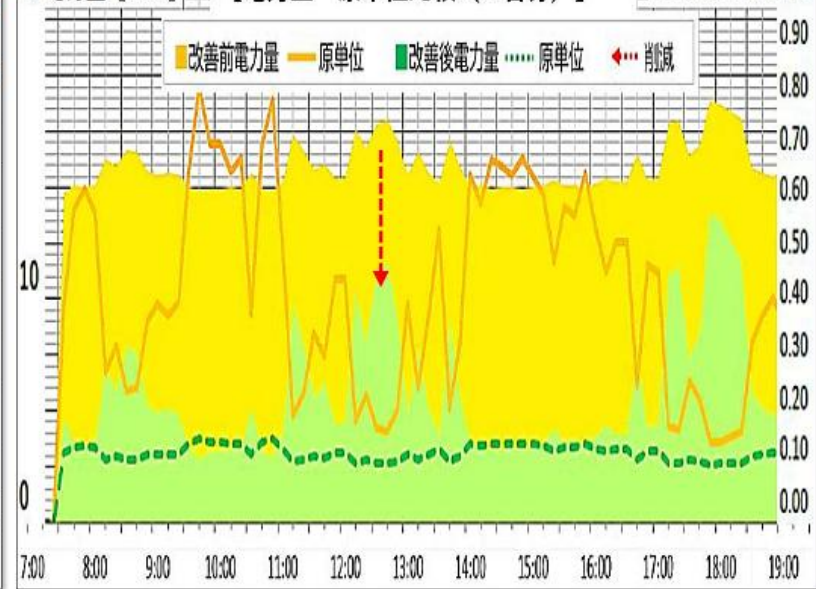
高効率のインバータコンプレッサ(4台)に更新することで消費電力を削減した

(先進的省エネルギー投資促進支援事業費補助金活用)

■ コンプレッサ省エネ性能グラフ



【電力量・原単位比較 (1台分)】



【改善のポイント】

事前のエア使用量測定・検証、又、省エネ機器の導入のみでなく、その後も設備と連動した自動電源操作、低圧運転モード使用、吐出圧力設定見直し、圧損対策等を行い更なる効果を得た。

投資額;5,480(千円)(補助金活用)
削減電力量;111,894(kWh/年)
効果金額;1,564(千円/年)

省エネルギー対策

③各設備の省エネ運転設定

省エネ運転モードへ設定し、更なる消費電力を削減した

LED照明器具(204台)



チラー水冷装置(10台)



省エネ運転モード設定 20~25% 消費電力削減

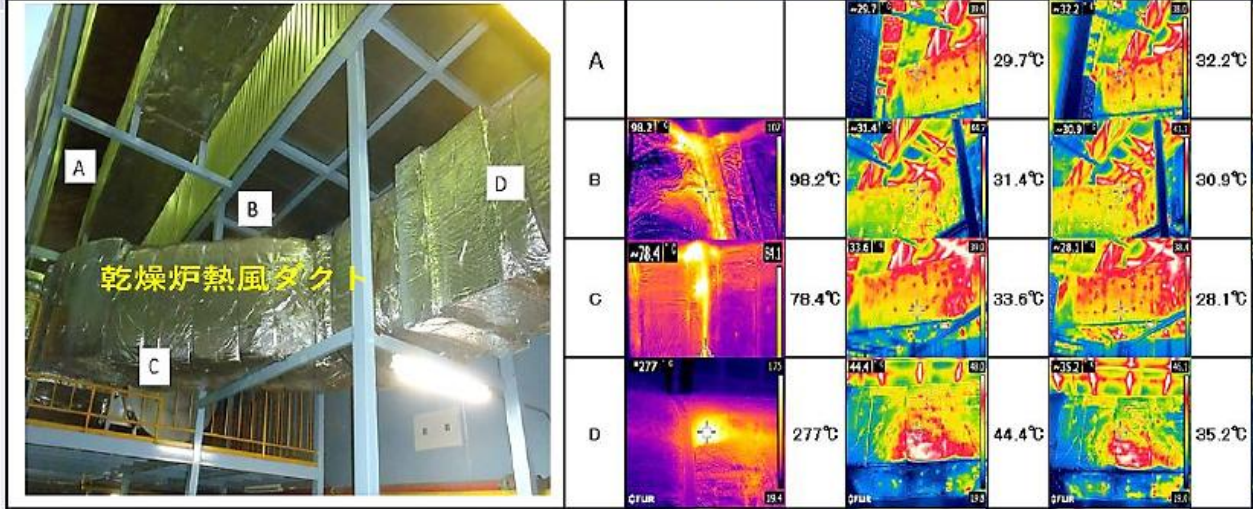
インバータコンプレッサ



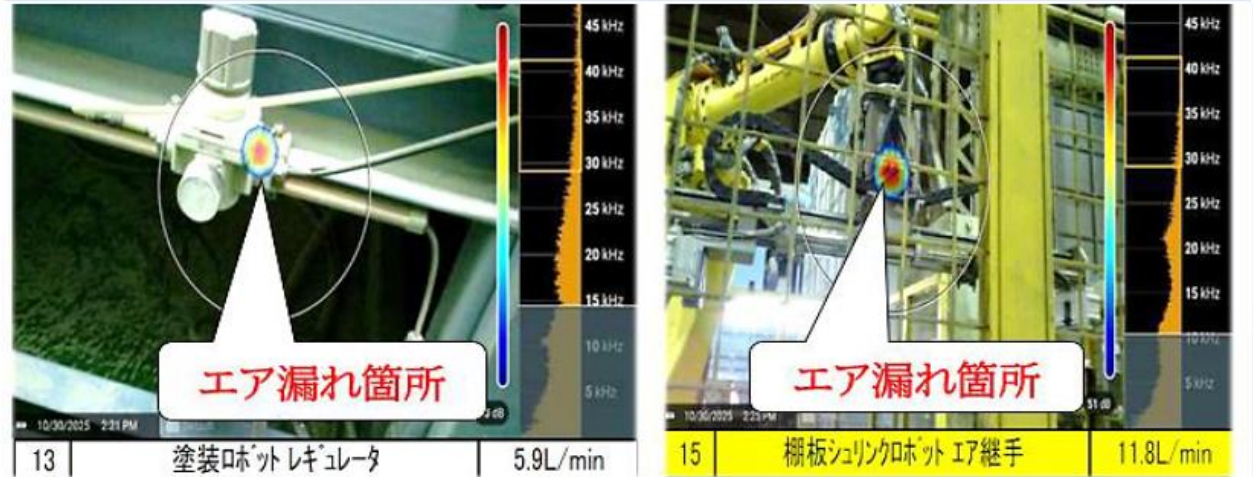
自動発停、低圧運転モード
設定により
5~10% 消費電力削減

④熱風ダクト、エアリーク測定監視

サーモビューワによる熱風ダクト漏れ測定



超音波カメラによるエアリーク計測 *環境パートナーシップいわて



省エネルギー対策

⑤ マネジメントレビュー

エネルギー使用量・設備変化点・原単位評価等を組織的に行いPDCAを実施

朝会にて日々のエネルギー・設備変化点等確認

経営/パフォーマンス管理システムレポート
CPS: Casting Performance management System 2025/10/6

設備管理記録表 コンペアアラーム履歴 CPSレポート履歴 チョコグラフ

項目	値	26日平均	目標値	評価	検定
稼働稼働率	32.7%	20.0%	33.0%	○	amb world
運転稼働率(%)	81.5%	80.4%	79.2%	○	
運転稼働率(%)	84.9%	81.5%	84.0%	○	
炉内稼働率(%)	48.9%	45.1%	43.8%	×	
ライン稼働率(%)	97.1%	98.3%	98.8%	×	4.8m/min 100%

稼働状況

項目	値	26日平均	目標値	評価
乾燥炉温度(℃)	10/8 8:17	-	-	
終了時刻	10/8 13:27	-	-	
運転稼働率(%)	910	912.0	99.8%	
稼働時間	742	731	101.2%	
停止時間	168	179	94.0%	許容停止含む
平均ラインスピード	4.6(m/min)	4.72(m/min)	98.8%	目標: 4.8(m/min)
ライン長さ	3341	3344	100.0%	
炉内	3382	3123	104.1%	
空室	583	711	81.7%	許容: 504
炉内温度(℃)	10375	10370	100.0%	
炉内	5046	4079	107.8%	
空室	5330	5699	93.5%	

生産

項目	値	26日平均	目標値	評価
完成品数(千円)	-	-	84.3%	
生産効率	9,081	8,944	102.2%	
不良率	3	38.6	7.8%	
不換率	0.021%	0.021%	0.0%	目標: 0.0%

ガス

項目	値	26日平均	目標値	評価
ハンカ一送り(回)	0.182	0.168	×	
使用量(㎡)	700.1	646.0	108.4%	
炉内ガス使用量	192.19	189.4	102.0%	
乾燥炉	912.1	59.8	154.3%	
炉内	410.29	352.9	104.4%	
ボイラー	4.56	4.0	113.5%	
ボイラー	4.06	2.2	-	
ボイラー	0	1.8	-	

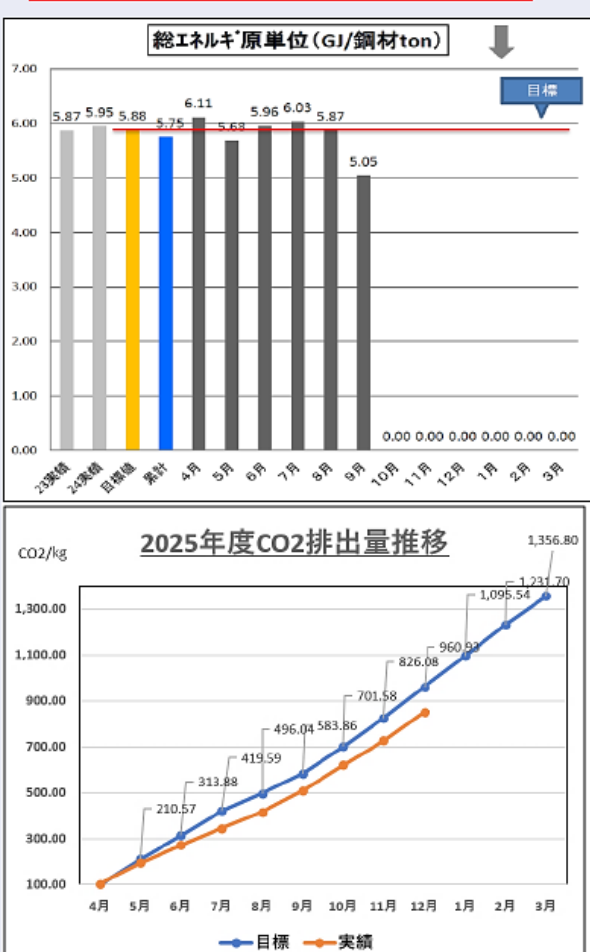
水

項目	値	26日平均	目標値	評価
排水量(㎡)	5.6	6.0	92.8%	
排水量(㎡)	5.0	5.4	92.6%	

動力

項目	値	26日平均	目標値	評価
電力消費(kWh)	201.1%	104.1%	-	
電力消費(kWh)	88.8%	94.8%	-	

月次の実績・原単位評価



⑥ 省エネ管理基準ポイント揭示

各設備に省エネ管理基準のポイントを揭示、作業者に省エネ管理の運用をわかりやすくしている

省

省エネ管理基準ポイント

	対象設備	接着ライン
運転形態 (設定温度・運転開始時間)		1) 乾燥炉温度(目安)/運転開始時間 ① 夏季(5~9月) 75℃ 7時点火 ② 冬季(10~4月) 80℃ 7時点火 2) ポストフォーム温度(目安)/運転開始時間 ① 夏季(5~9月) 40~50℃ 7時20分点火 ② 冬期(10~4月) 40~50℃ "
		及びジェットヒーター
保守点検		自主点検(1回/日) / 乾燥炉メーカー定期点検(1回/年)
監視測定		ガス使用量/日、局所排気測定(1回/年) 壁面温度測定(1回/月)
設備所管部門		製造部・工作課

自動車・物流輸送対策

従業員へエコドライブの呼びかけや掲示

オカムラグループの物流輸送改善や配送車両の時間計測・分析等を行い、運行効率・待機時間の削減を図っている

周知・掲示

エコドライブ 10 のすすめ

加減速の少ない運転

車間距離は余裕を持って交通安全に応じた安全な定速走行に努めましょう

早い加速

エンジンブレーキを積極的に使しましょう

エアコンの使用を控えめに

車内を冷やしすぎないようにしましょう

アイドリングストップ

無用なアイドリングをやめましょう

暖気運転は適切に

エンジンをかけたらすぐ出発しましょう

道路交通情報の活用

出かける前に計画・準備をして、渋滞や道路障害等の情報をチェックしましょう

タイヤの空気圧をこまめにチェック

タイヤの空気圧を適正に保つなど、健全な点検・整備を実施しましょう

不要な荷物は積まずに走行

不要な荷物は積まないようにしましょう

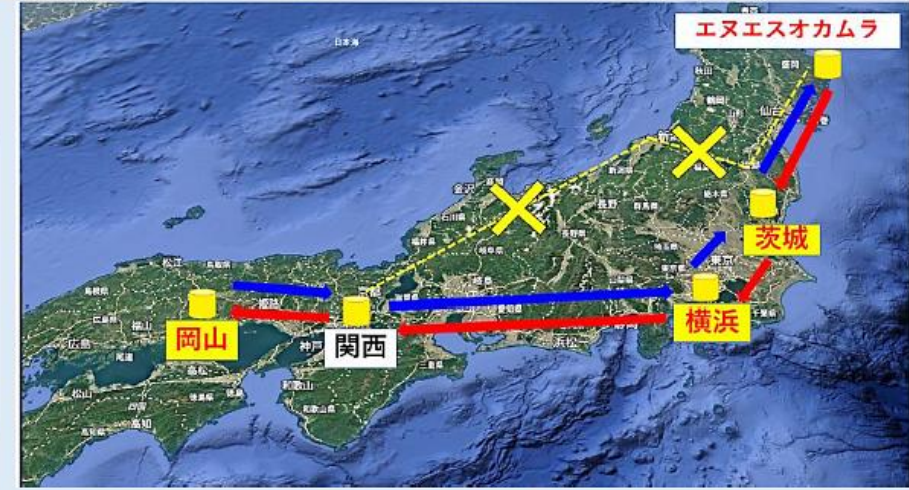
駐車場所に注意

渋滞などをまわくことから、違法駐車はやめましょう

トラック輸送効率の向上

オカムラグループ全体で物流改善に取り組み
単独輸送経路から各拠点の定期運行便への見直し・輸送効率の向上を図っている
(ドライバー不足にも対応)

▼ 34t-CO₂/年



トラック待機時間削減

入退タブレット

時刻 2026年5月25日 16:36:56 クリア

運送会社

車番 (ナンバー)

ライフジャケット有無 あり なし

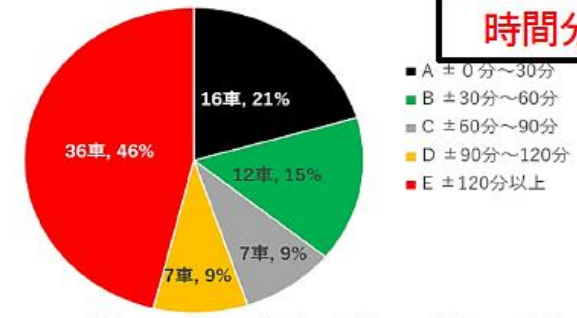
入場時刻

入場 出発

配送車両の待機時間を計測し分析を行い、運行効率・待機時間の削減を図っている

物流2024年問題 待機時間の削減 (2h以内=入場~退場)

4月 78車 トラック指定時間の入場差異 分析



分析E: ±120分以上の差異が、4月全体の46%を占めている事がわかり、スケジュール/業務も圧迫している事がわかる。

① 運送業者指定時刻	② 入場時刻 (ドライバー入カ)
	2026/3/30 8:11
	2026/3/30 8:15
	2026/3/30 9:24
	2026/4/2 9:00
	2026/4/2 9:23
	2026/4/2 9:29
	2026/4/2 10:20
	2026/4/2 14:13
	2026/4/3 9:00
	2026/4/3 8:03
	2026/4/3 13:00
	2026/4/3 10:12
	2026/4/3 10:35
	2026/4/3 14:32
	2026/4/6 9:00
	2026/4/6 8:14
	2026/4/6 13:00
	2026/4/6 8:21
	2026/4/6 10:00
	2026/4/6 13:54
	2026/4/7 9:00
	2026/4/7 7:55
	2026/4/7 13:00
	2026/4/7 9:57
	2026/4/7 10:00
	2026/4/7 14:12
	2026/4/8 13:00
	2026/4/8 8:20
	2026/4/8 10:00
	2026/4/8 10:09
	2026/4/8 14:00
	2026/4/8 10:18

分析	分析内容(指定時間差異)	4月
A	±0分~30分	16車
B	±30分~60分	12車
C	±60分~90分	7車
D	±90分~120分	7車
E	±120分以上	36車
		78車



製品資材削減・再生材原料(ECO製品)の使用による環境負荷低減

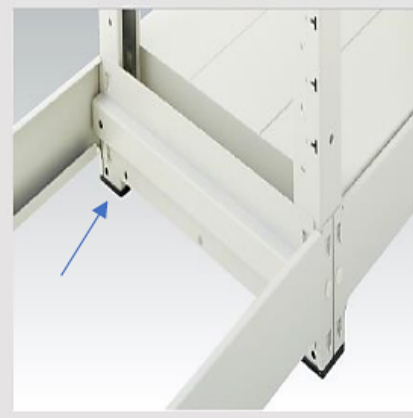
オカムラグループは原材料部品の調達や製品開発において環境負荷低減に取り組んでいる
 又、オカムラ独自の環境基準「GREENWAVE(グリーンウェーブ)」・「GREEN WAVE+(グリーンウェーブプラス)」を策定し環境配慮した製品の
 拡充を図っている。当社でも、製品・部材・梱包樹脂材・ダンボール等において環境負荷の低減を行っている



・ボルトレス構造
 ・板厚ゲージダウン



・プラ部品
 再生樹脂材使用



バンド再生樹脂材使用
 ▼CO₂排出量 77%



梱包フィルム薄肉化
 ▼CO₂排出量 14%



梱包ダンボール
 ・材料ゲージダウン
 ・ダンボール加工機 歩留まり確認評価・対策
 ▼3t-CO₂/年



環境保全整備活動・地域コミュニケーション

環境整備活動に積極的に参加

地域とのコミュニケーションも大切にし、モノづくりや当社の環境への取り組みなども紹介している

オカムラグループ ワークेशन型SDGS研修参加

「SDGs講習」、「森林保全研修」、「自然体験プログラム」に参加。
地産地消の食文化、人と森のつながり、海と山の関係などを学び ボランティア活動も行った



職場体験

板金加工、部品取り付けなど、モノづくりを体験



緑化整備活動参加・自主清掃活動

工場周辺・歩道

釜石鵜住居復興スタジアム



出前授業

市内中学、高校への出前授業で会社紹介や3DCAD操作を行った。



企業価値・社内モチベーション・人材獲得力の向上

積極的な取り組みによる成果は従業員の意識高揚、企業価値向上に繋がっている
又、当社では障害のある方の積極雇用や男女問わず働きやすく、活躍できる環境づくりに取り組んでいる

平成28年度
「省エネ大賞」受賞

令和7年度 東北地域 省エネルギー月間表彰式

主催：東北経済産業局 一般財団法人省エネルギーセンター東北支部 東北七県電力活用推進委員会

「東北地域エネルギー管理優良工場」受賞



温室効果ガス削減に向けて

「いわて地球環境にやさしい事業所」認定企業

株式会社 エヌエスオカムラ(釜石市)

2022年「いわてわんこ広報室」にTV紹介



釜石市のオフィス家具メーカー
エヌエスオカムラは

令和7年度「沿岸地域脱炭素化推進フォーラム」に
パネリストとして参加



令和7年度 岩手県障がい者雇用優良事業所等表彰式

主催 / 岩手県 (独)高齢・障害・求職者雇用支援機構 岩手支部



「いわて女性活躍認定企業等(ステップ1)」認定書

企業等の名称 株式会社エヌエスオカムラ

所在地 岩手県釜石市鈴子町23番15号



いわて女性活躍企業等認定制度要綱第6の規定により、
「いわて女性活躍認定企業等(ステップ1)」として認定します。

認定番号 第2026-1-20号
認定年月日 令和8年2月4日
有効期限 令和11年2月3日

岩手県知事 遠増 拓也





OKAMURA

人を想い、場を創る

“Loving people, creating places”

自分らしく生きる人を増やし、笑顔があふれる社会へ。
オカムラは人を想い、人が生きる場を創ります。

ありがとうございました